

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和3年11月30日(火) 10:00~12:00
- 3 開催場所 大垣特別支援学校会議室
- 4 参加者

会長	山 真弓	大垣公共職業安定所 総括職業指導官
副会長	山口 敏文	大垣水都ライオンズクラブ 青少年育成委員長
委員	野村 哲夫	上笠自治会長
	石丸 明美	大垣市くすのき苑 係長
	山田 晃嗣	情報科学芸術大学院大学 准教授
	箕浦 智之	大垣共立銀行 江並支店支店長
	伊藤 三枝子	清流の国ぎふ女性防災士会 会長
	後藤 悦子	障がい者相談支援事業所 ゆう 所長
	澤井 恵美子	大垣特別支援学校 PTA 副会長
学 校 側		
	松原 勝己	校長
	後藤 睦子	教頭
	福島 洋之	教頭
	桐山 泉	事務部長
	佐藤 鈴子	小学部主事
	原 和代	中学部主事
	寺井 聡	高等部主事
	橋浦 夏子	教務主任

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校体育施設の開放について

意見1: 開放する場合はどのような手順になるのか。

⇒大垣市から開放についての依頼があれば、検討する。鍵の管理や、使用料の取り決め等、県と連携しながら進めることになる。開放する場合は、学校が使用しない時間のみ開放となる。

意見2: 中学校の部活動が地域のクラブチームへ移行することになる。その際の活動場所として、学校施設の開放の話は出てきたと考える。

(2) 本校の防災学習について

・1年間の計画と、児童生徒の取組を紹介。

意見1: 家庭の減災力テストとはどのようなものか。

⇒岐阜大学が作成したもので、家庭にアンケートを渡し、子どもと一緒に災害について考えてもらうきっかけとしている。

意見2: 「伝言ダイヤル」とはどのようなものか。

⇒NTTの災害用伝言ダイヤルで、毎月決まった日に無料体験ができるシステムである。

意見3：車いすの児童生徒の避難方法は決まっているか。当事業所では、布担架を利用してゐる。児童生徒によって違ってくるのではないか。車いすと児童生徒が別々に避難すると、3名で済むこともある。避難後の移動を考えたうえで避難することも必要である。

～授業参観～

参観時間に「シェイクアウト訓練」を行っている様子とあわせて、小学部・中学部を中心に授業の様子を参観。

(3) 各部運営の現状報告

【小学部】

- ・コロナ禍のため「できない」ではなく、できることを工夫しながら取り組んでいる。
- ・学校間交流、居住地校交流等も工夫をしながら進めている。

【中学部】

- ・仲間とのかかわりを大切にしながら、自分の思いを伝える場、話し合う場を大切にして指導している。
- ・保護者に対しても、通信を利用したり、直接授業参観に来てもらったりして、生徒の様子を伝えるよう努めている。

【高等部】

- ・職業教育の観点から、社会人育成を目的として、「やり通す」「自ら役割を果たす」「働く人になる」という、社会に出ていく道筋を大切にしながら指導している。
- ・消費者教育の取組について資料を示しながら説明するなど、社会に生きる一人の消費者として、生徒の成長を支援している。

<学校運営協議会委員からの意見>

意見1：児童生徒の頑張りを見て、特に中学部生徒の集中力の高さに感心した。

意見2：シェイクアウト訓練の時には、黙って見守るだけでなく、児童生徒が安心してその時間を過ごすことができるよう、ずっと言葉を掛け続けることが大切である。また、日頃から出入り口に物を置かないようにできるとよい。

意見3：一人一人に合わせた教育現場を見せてもらった。教育と福祉の連携が大切だと感じた。

意見4：災害が実際に起きた時は、自分の子どもの実態からいろいろ不安がある。日頃より地域の方と交流できるよう努めている。

意見5：防災教育に力を入れていることがよく分かった。自分の町内でも、このような取組を取り入れていきたい。

意見6：防災学習から、実際に体験することの大切さを感じた。

「働く人になろう」というスローガンを掲げ、取り組んでいる様子がよく分かった。コロナ禍で、外部との接触が難しいが、見学、実習等の受入れを協力していきたい。

意見7：見学をして、学ぶべきことが多くあった。生徒と教員の信頼関係ができていると感じた。

意見8：災害にあったときの言葉掛けは家庭でも大切なことである。社会に出ると学校ほど手厚く対応してもらえないだろうが、誰にでも平等な社会にしていく必要がある。

意見9：何事にも個別の対応は必要である。また、体験を繰り返し行うことが児童生徒に

とって大事なことだと感じた。消費者教育については、「やってよいこと」「いけないこと」をしっかりと盛り込んで教育していくことが必要である。

6 会議のまとめ

- 第2回学校運営協議会は、すべての委員が出席のもと集合型で開催した。
- 「学校体育施設の開放について」は詳細について、検討が必要なところもあるが、反対意見は特になく、承認が得られた。
- 「本校の防災学習について」は、今後取り入れていきたいアイデア等が得られた。
- 前期の学校運営、部の運営について報告し、その内容や経過について、全委員からの承認が得られた。各委員から、個を大切にす教育活動、体験を積み重ねる教育活動、そして自立を目指す教育活動について、高い評価が得られた。
- 委員からの評価や、指摘された課題を全職員に伝え、今後の教育に生かしていきたい。